

第 1 7 5 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 5 年 7 月 2 0 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 7 5 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 5 年 7 月 2 0 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 2 階 「 共 用 会 議 室 D ・ E 」

出席者：

公 益 委 員	上原委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労 働 者 委 員	柴田委員、島仲委員
使 用 者 委 員	桃原委員、亀谷委員、角委員

沖 縄 総 合 事 務 局	野原船舶船員課長、 比屋根課長補佐、 金城係員
---------------	-------------------------------

議 事 次 第

○開 会

○議 事

1. 第 1 7 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○閉 会

(配 付 資 料)

- 資料 1. 第 1 7 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
- 資料 2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 5 年 6 月 分)
- 資料 3. 体 験 学 習 の 実 施 に つ い て

上原 部会長

それでは、定刻でございますので、第 175 回 船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局からお願い致します。

事務局（金城）

本日は、公益委員 4 名、労働者委員 2 名、使用者委員 3 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることを御報告させていただきます。

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

上原 部会長

それでは、まず初めに、前回、第 174 回 船員部会の議事録について承認を諮りたいと思います。事前にメールにて確認されていると思いますが、議事録について何か御意見はありますか。

原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「はい」）の声

上原 部会長

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の 2 「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願い致します。

事務局（比屋根補佐）

令和 5 年 6 月分の管内雇用状況等の概要について御報告致します。

● 求人状況について

新規求人数は 23 件でした。

前月に比べ 18 件増加、また、前年同月に比べ 20 件増加となっております。

月間有効求人数は 53 件でした。

前月に比べ 17 件増加、また、前年同月に比べ 39 件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等 48 件、漁船で 5 件となっております。

月末未済求人数は 38 件でした。

● 求職状況について

新規求職数は 4 名でした。

前月に比べ２名減少、また、前年同月と比べて２名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等３名、漁船１名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

６月の新規求職者４名の退職理由は、自己都合が４名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が３名、管内が１名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は２２名でした。

前月と比べ３名増加、また、前年同月と比べ３名減少となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等２１名、漁船１名となっております。

月末未済求職数は１５名でした。

●成立状況について

６月の成立は０件でした。

●求人倍率について

６月の月間有効求人倍率は、２．４１倍でした。

前月に比べ０．５２ポイント増加、前年同月に比べ１．８５ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は１名、支給延べ件数は１件です。

基本手当支給額は１３１，４８０円でした。

その他、再就職手当の支給において商船等１件で３８９，９７０円、総支給額は５２１，４５０円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について何か御質問等がある方はいらっしゃいますか。

柴田委員

お願いします。

ここ最近、ずっと同じ話をしているかもしれませんが、求人倍率の数がこの半年間ほど2倍を超えています。つまり、沖縄県の海運業界においても船員不足などの問題が顕著化しているのではないかと僕は思っています。これは短期的なデータではありますが、この半年間の2倍を超える求人倍率の数値は高いかなと印象を受けているのですが、総合事務局からの見解など教えてもらえないでしょうか。

事務局（比屋根補佐）

柴田委員から発言がありましたが、実際に求人を出し続けているという事業者が複数社あります。今回の求人については、新規求人数23件となっておりますが、先月末をもって期間満了した事業者の一部が、継続して新たに新規求人を出している状況があります。その事業者ですが、船種はガット船と砂利運搬船で、その事業者から13名の求人が出ております。そのような状況を踏まえると、沖縄管内では作業船の分野において船員が不足していると見て取れるのではないのでしょうか。

柴田委員

一つの会社が13名の求人を出されているということなのですけど。

事務局（比屋根補佐）

一つではないです。

柴田委員

一つじゃない。幾つかの事業者が継続的に求人を出している場合のデータと、ここで話しをする沖縄の海運業界全体としての求人倍率というのは、若干異なるものになるのではないかと思います。例えば10社が1人ずつ求人を出しているパターンと、一つの会社が10名出しているパターンでは、双方とも求人数が10名出ている状況ですがその実態については大分異なると思います。船員不足と言われるけど、前者はその1つの会社で船員が不足しているのであって、全体として船員不足という話にはならないと僕は思います。ですので、このデータ自体否定はしませんが、沖縄県の海運業界の船員が不足しているとは、このデータからは把握しづらいかと思います。

上原部会長

ありがとうございます。

その他、質問のある方はいらっしゃいますか。

事務局もよろしいですか。

ないようですので、次の議事３番のほうに移らせていただきます。

「意見交換」、何かこの１か月で意見交換すべき事柄があったでしょうか。何か聞きたいことでも。

柴田委員、お願いします。

柴田委員

僕は、海上関係での仕事に長く携わっているところ、陸上関係までは情報を把握できておらず実体として見えないところがあるので、弁護士の先生方や社労士の方々へお聞きしたいことがあります。先日、国際通りにて時給２，０００円で求人募集を行っているという新聞記事で見かけ本当なのかと驚愕しました。

まず前提として、沖縄県の最低賃金は全国でも一番下のほうです。その状況のなか時給２，０００円で募集しているというのは自分としては理解し難いところで、それだけコロナなど状況の変化による人材不足が実態としてはあるのしょうけど、本当に報道等の内容が実際に起こっているのか、皆さまでも関連した話をご存知でしたら教えてください。よろしくお願いします。

上原部会長

どなたか、情報に精通している方いらっしゃいますか。

赤嶺委員

情報に精通はしてないのですが、法律事務所や弁護士会では事務職員を時給１，０００円以上で募集してもなかなか集まらないというのは耳にします。

柴田委員

やはり１，０００円ほどではなかなか人は来ないのしょうね。それが正職員であってもということですかね。

大城委員

あと、飲食店さんについては言い方が悪くなりますが、レジのお金を抜く従業員を人材がいらないからという理由で解雇できないという話もあるそうです。

柴田委員

なるほど。

大城委員

人材が不足しているため、仕方なくオーナーがレジのお金を持ち歩いているという話も聞きます。

柴田委員

今年、これだけ物価高や賃金上昇の話が春闘で議論されているなかで、陸上では時給2,000円で募集しているとなると、これから秋口に海上での最低賃金の話をする際、時給2,000円の話が海上でも考慮するとなった場合相当な金額になりそうです。

大城委員

この時給2,000円は、フルの時間帯ではないと思います。

柴田委員

短期的な話ですかね。

大城委員

よくパートの介護職の方でも人がいないので高額で募集をかけている地域もありますが、1時間2,000円では募集せず、30分1,000円と短い時間での勤務というケースもあるそうです。

豊川委員

よろしいですか。

イオンライカムができたときに、突然時給が1,500円と高額になり、ほかの事業者が潰れてしまうのではないかと危惧されていましたが、その後は収束し落ち着いたということがありました。ただ、今回大きく違うのは2030年までに労働人口が日本中で644万人不足すると想定されており、その結果、沖縄県の人口の4倍ほどの労働人口がこれからいなくなることにあります。あと一つ、コロナを経て働けるけど働かない人が増えているということが世界的に言われており、アメリカなどではその状況により格差問題に発展しているようです。また、年収130万円の壁など働けば働くほど損をすると信じている人たちがいたりするので、そのリベラル・アーツといいますか教養という意味でも、本来なら働いた分取られることはないということや、御主人の扶養に入っているほうが損をしないとか、時給を上げるとさらに時間軸としては短くなるなどの理由で働かないという人たちが、さらに増えるということがあるかなと思います。

時給2,000円問題というのは、普通の一般的な経営者から考え

ると2,000円の時給を払う余裕はなく、それならば事業を縮小してキャッシュフローの安定化を求めていくのではないのでしょうか。あとDXも今後重要と言われているのですが、もし飲食店にロボットを導入しようとした際、そのお店の状況によっては恩恵を受けられる場合もあれば、逆に効果を得られないといった場合もあり、なかなか難しい部分もありますが、それでもDXが鍵になると言われております。今回の問題点としては人口及び労働人口の減少、働けるけど働かない人たちがいるというダブルパンチというのがあるので、さきほど挙げたDXなどをうまく利用していく必要があるのかなと思います。

豊川委員

また、石垣島だと観光客が多いためかタクシーに乗れないですね。

柴田委員

タクシーも全然捕まらないですよ。レンタカーももちろんいっぱいですし、観光業がすごく引っ張っていただけるのはありがたいですが、少しインフレ気味に感じますので、地道に働く人たちの給料も底上げしながら労働者の補充もするといった対応で県や国など舵取りをしていただきたいです。

豊川委員

やはり働ける人には働いてもらいたいですね。先日財務局の方がいらした際に、働けるけど働かないことを選んでいる人たちに働いてもらえるような仕組みを構築できればと話をしました。働けば働くほど損をする、年末忙しいけど時給を上げるから頑張っしてほしいと頼んだら、勤務時間を超過することで逆に損になってしまうという理由で従業員から断られてしまうと、お歳暮生成の現場ではこのような状況で困っているという話も耳にします。

柴田委員

やはり扶養の所得制限が少し足かせになっていると感じますね。物価の上昇に伴い給料も上昇し、それこそいままで1時間働いていたのが30分に短縮しないと扶養に入れなくなってしまうといったことなど、その辺も含め国のほうでも少し考えてほしいと思いますね。

豊川委員

働きたいけど扶養などの制度が足かせになって困っている人もいます。なので、世の中の状況に合わせて、制度におけるパッケージの組み合わせなどを考えてもらえるようになったらいいと思います。

柴田委員

税金の観点からも国は考えているでしょうからね。理解はできるのですが、高齢者などシルバー人材への注目や船のほうでは女性人材をさらに呼び込もうと取り組まれています、女性が結婚や出産して共働きできる環境にあるかといえ、扶養の話も然りもう少し考えるべき点はあるかと思います。

豊川委員

少し話題からずれるのですが、観光では客単価はすごく下がっているそうです。ある小売店さんでの話では、昨年度や一昨年前に対して、今年は観光客の人数自体多いけども、消費額としてはあまり多くないらしいです。その代わり、コンビニは去年よりも調子を上げていると耳にします。逆に飲食店は従業員がいなくて開けられない、もしくは先ほど話題に挙げたように従業員の確保に苦慮しているお店は夜の9時10時には閉めてしまうなど、今後観光立県の立場が危ぶまれるような悪い方向に進む恐れがありますね。

大城委員

ホテルのレストランなど確かに再開できていませんね。

豊川委員

お昼できるところはほとんど開いていないですね。最近からやっと落ち着きだした印象はありますが。

事務局（野原課長）

先ほどありました時給2,000円の話について、県内のリゾートホテルでは去年から既にその動きはあったようです。ホテルの中でも特に清掃部門は人材不足が顕著だったため、時給を思い切り上げたようですが、それでも十分な人材は集まらなかったと聞いております。

上原部会長

ありがとうございます。

今の事柄に関連して何かありますか。

確かコストコも1,500円で求人募集を出していましたね。

豊川委員

コンビニのとある店舗は人材がいなかったため勝手に時給を上げて求人募集をしたら、本部から怒られたという話があるので、自由競争がな

いところも大変そうですね。

上原 部会長

ありがとうございます。

その他、何かありますか。

ないようですので、意見交換はこれにて閉じさせていただいてよろしいですか。

(「はい」) の声

事務局 (金城)

続きまして、皆様にお配りしております資料 3 について、説明させていただきます。

「体験学習」というタイトルの案内を御覧ください。

こちらは、若年内航船員確保推進事業の取組の一環としまして、内航船員の仕事に関心を持たせ、船員を志望するきっかけをつくることを目的としております。当日は、沖縄水産高校の会場を使用して、学科紹介や実習船の船内見学などを企画しているところで、来週の 7 月 25 日に開催する予定となっております。本事業は、例年、中学生の 1、2 年生を対象とした事業となります。

現時点で参加の申し込みは締め切っておりますが、申込のあった参加予定人数としましては、中学生が 26 名、保護者・引率が 17 名の合計 43 名で、昨年とほぼ同数の参加が見込まれております。

実施にあたり、悪天候などでもし延期になることがございましたら、追って御連絡差し上げたいと思います。

配付資料 3 の説明については以上でございます。

上原 部会長

この中で、イベントに行かれる方はいますか。

柴田 委員

当日海の日での式典と被っているので途中参加になると思いますが、両方行こうと思います。

上原 部会長

それでは、次回開催について事務局よりよろしくお願いいたします。

事務局 (金城)

8月の船員部会は、8月17日の木曜日に当局5階の海技試験室控え室で、11時より開催いたします。

後日、改めて案内の文書をメールで送付いたします。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡ください。

今回の議事録案は後日、メールで照会させていただきますので、よろしくお願いいたします。

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして本日の船員部会を終了させていただきます。ありがとうございました。